

2013 年度第 1 回

日本社会福祉学会関東部会運営委員会 議事録

日時:2013 年 6 月 21 日 金曜日 18:30-21:00

場所:日本社会事業大学・文京校舎 202 教室

出席者(敬称略)

大島、森田、荒井、小野、黒岩、高橋、田嶋、月田、贅川、原田、山田、李、渡邊(浩)、

報告:

1. 2012 年度関東部会研究大会(2012.3 開催)について

- ・122 人参加、自由研究報告:10 会場、28 演題
- ・記念講演:大本圭野氏、
- ・シンポジウム
- ・その他

2. 各部会活動報告

- ・ホームページ:メルマガの連携を検討している。フェイスブックやツイッターの活用
→昨年度は評論の原稿がまとまった時にメルマガで情報発信する。
- ・ニューズレター:今年度も紙媒体での発行を予定
- ・編集委員会:社会福祉学評論の発行。事務局は体制が整いつつある。
- ・その他
 - ① 究大会へ参加していない人への終了後の情報提供の必要性あり。
→関東部会 1800 名だが参加者は 100 名程度
発表者に発表を終えての声を聴いてみる。NL 担当者が記者として原稿を依頼することも必要である。

議題:

1. 今年度の関東地域部会運営委員、監事、経理担当者、その他の役割分担

- ・今年度の運営委員:別紙参照
- 経理担当者:森田氏
- 監事:福山氏

その他の役割分担(新任運営委員)

- ・大会担当:原田氏、黒岩氏
- ・編集担当:李氏
- ・広報担当:渡邊氏

その他の役割分担(再任運営委員)

- ・大会担当:田嶋氏、高橋氏、贅川氏、佐藤信人氏
- ・編集担当:岡部氏、北本氏
- ・広報担当:月田氏、小野氏、荒井氏

2. 各部会の事業計画

- ・広報担当:【報告 2. 各部会活動報告】参照
- ・大会担当:今年度の規模による
- ・編集委員会:院生にとって、早く結果が出るように査読体制の強化(半年を目安)。
→教育的査読のため時間はかけている部分がある。

3. 2013 年度関東部会研究大会

- ・日程：3月8日(土)
 - ・開催地：昭和女子大学（月田氏）を当たる（→会場が確保できない）。
日本社会事業大学も候補。
 - ・実行委員長：開催地によって決定する。
 - ・大会テーマ・記念講演・シンポジウムなど：テーマ（案）
 - 権利擁護、認定社会福祉士、認定上級社会福祉士、中流なき社会、貧困、
 - 社会問題に対して切り込めるテーマ。少しでも社会問題に刺激を与えるようなシンポジストが欲しい。
 - 今のワーカーは能力主義で上から目線。新しい社会の変化に対応していくセンスがなくなっている。他の分野にお株を奪われているのではないか。
 - 社会福祉「学」研究が持つ力、研究パートナーとして実践現場の課題をどのように研究課題にしていくか。
 - 実践家をエンパワーする研究が必要。
 - 当事者と研究面でどのようにパートナーシップを築くか。
- ※大会テーマなどは、次回運営委員会で決める。

4. 研究奨励賞について

- ・最終候補として、4人選出したが一定のレベルに達する人がいないと判断された。
- ・基準を明確にする必要がある(院生と研究歴の長い教員を同じにしてよいのか、等)

5. 社会福祉学評論の発行、編集委員会関連

- ・投稿論文の状況：投稿が減っている。投稿の呼び掛けが必要。
 - 査読が遅いと、投稿件数が少なくなる。
 - 電子ジャーナルだから掲載が早いということが売りでもある
- ・メルマガ発信、座長推薦者への投稿推進
- ・社会福祉学会評論 12号(2013)の発行
 - 今号は2編の掲載が決定
- ・メルマガを発信：HPへの掲載が決定したら発信する。
- ・CiNiiの掲載について：親学会で議案が止まっている。今後は医中誌にも乗る予定
- ・投稿規程改定（別紙参照）
 - 規程変更案が承認された。
 - 次回運営委員会で再検討し運営委員会メールで共有する

6. ニュースレターの発行について

- ・今年度も発行

7. ホームページに関する課題

- ・3万円/月→2万円/月への変更
 - これまで立ち上げで更新も頻回であったため3万円/月だった。最近は更新も落ち着いてきている。

8. 今年度の運営委員会日程について

- ・年4回設定する：9月、12月、3月
- ・次回は、8月29日木曜日 18:30-21:00